

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 1月31日

【評価実施概要】

事業所番号	4751380017
法人名	社会福祉法人 まつみ福祉会
事業所名	グループホーム こもれび
所在地	〒901-0213 沖縄県豊見城市高嶺111番地 (電話) 098-856-1515
評価機関名	沖縄県社会福祉協議会
所在地	沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1
訪問調査日	平成20年1月30日

【情報提供票より】(H19年12月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14 年 4 月 5 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 8人, 非常勤 2人, 常勤換算 8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	1階建ての 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費 6,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(12月17日現在)

利用者人数	8 名	男性	1 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	0 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.75 歳	最低	72 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	豊見城中央病院 松岡内科小児科医院 竹尾歯科
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは近隣に住宅は少ないものの見晴らしの良い高台に位置し、赤瓦屋根のゆったりとした造りになっている。法人母体施設との協力関係が構築され、緊急時や救急時体制、運営面、職員の教育面等で家族の安心に繋がっている。ホーム内は木製の家具や調度品が配置され、家庭的な雰囲気が感じられる。管理者と職員は利用者本位のケアに取り組み、高いレベルでの認知症ケアの質が保証されている。今後は地域への認知症高齢者の理解やケアの発信、地域交流・地域貢献等域密着型サービスとしてホーム独自の取り組みを期待したい。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の指摘項目である介護計画や日々の記録等改善が行われている部分が多く見られる。自己評価、外部評価の意義を日々の中で確認し、さらに具体的改善に取り組むことを期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者の変更や職員の人事異動等があり十分にに取り組むことは出来なかったものの、自己評価は職員の意見を反映しながら改善に向けて努力している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回の定期で行われ、市町村や地域包括支援センターの関係部署も参加している。日常的な活動の報告、活動内容、地域との交流、外部評価等多岐にわたり意見交換が行われている。意見交換を通してホーム、運営者共に改善に向けた取り組みを行っている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	面会時や電話による意見の聴取を行っている。定期的な家族便りの発行や家族会の結成、アンケート等を通して家族の意見を反映できるような工夫を期待したい
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会への加入や頻回な外出・買い物等で地域との交流を図っている。今後は地域への認知症高齢者の理解やケアの発信、地域交流・地域貢献等域密着型サービスとして役割をさらに築き上げるよう期待したい。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者は認知症であっても地域の中で尊敬をもって当たり前の暮らしが出来るということを柱に支援している。また、地域の人がいっつも出入りできるホーム作りを大切にしている。	○	開設当初より事業所独自の理念は作り上げられてきたが、今後は地域密着型サービスとしてのホームの理念の再構築を図り、地域の方々とも共有できるよう積極的な取り組みを期待したい。
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングや会議の中で理念の共有を図っている。また、施設での介護経験のある新入職員には利用者への対応の違いを日々ケアの中で説明している。	○	法人内の人事異動等もあるが、職員全員の理念の共有がさらに図れるよう、日々の支援の中で理解と周知に努めることを期待したい。
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会へ加入し、年2回の地域清掃活動にも参加している。また、地域の青年エイサーの慰問で交流の機会が出来た。	○	ホーム周辺には民家が少なく環境的な問題もあると思われるが、月1回の「すば家 こもれび」開催の地域広報等、地域密着型サービスとしてさらに積極的な取り組みを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、前回の評価を活かして取り組んでいる。	○	自己評価は職員の意見を反映しながら行い、外部評価の結果を踏まえた改善が行われているが、自己評価、外部評価の意義を日々の中で確認し、さらに具体的改善に取り組むことを期待したい。
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議を開催し、行事の報告や評価結果について意見交換を行いサービスの向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議や定期的な行事の開催で市町村や地域包括支援センターとの情報交換を行っている。</p>	○	<p>地域密着型サービスとして、ボランティア活動や認知症ケア・介護予防教室・地域貢献活動等、市町村と連携しながらホーム側からの積極的な取り組みを期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日常生活の状況は家族の面会時や電話で報告している。</p>	○	<p>これまで家族への定期的報告がなく、人事異動等の情報提供も十分ではないため、定期的な家族便りの発行や家族会の開催等の取り組みを期待したい。</p>
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議には家族代表も参加している</p>	○	<p>運営推進会議への家族代表の参加はあるが、その他の家族の意見や要望等の反映が十分にされていないため、家族全体の意見が反映できるような工夫を期待したい。</p>
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の人材育成の目的等から定期的な人事異動があるが、管理者をはじめ職員の異動が比較的多くなっている。</p>	○	<p>利用者や家族との馴染みの関係が維持できるような法人全体の配慮や、家族への事前の報告等を期待したい。</p>
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者は勤務調整しながら法人内研修や外部研修等に参加させ、人材育成に取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会への参加や他施設の見学等交流の機会を持ち、サービスの質の向上を目指している。また、連絡会の広報誌に「すば家 こもれび」の情報等掲載している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者は母体施設からの入居が多く、利用者本人、家族共に見学や体験を通して雰囲気に馴染めるように取り組んでいる。また、職員も入居前には施設に利用者を訪問し、情報を収集している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は食事の準備を利用者と一緒に行ったり、豆腐作りやそば作り等利用者から教えてもらっている。また、利用者が活けた花をホーム内に飾り雰囲気を和ませている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者のアセスメントや日々の支援の中で、利用者や家族の希望や意向を把握してケアに活かしている。ホームに日課はなく起床時間や食事時間、入浴時間の自由等利用者本位に暮らしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は職員を始め、家族や本人の意向を取り入れ、個別性の感じられる計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケース会議を行うことで、定期的な見直しを行い、利用者の状態の変化に応じた見直しも行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	空き室を利用したショートステイの活用に取り組んでいる	○	ショートステイの活用のみでなく、地域密着型サービスとしての機能を十分に発揮できるような工夫を期待したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の受診は基本的には家族が行うが、必要に応じて受診に同行したり、かかりつけ医との電話や文書のやり取り等を行うことで連携を図っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族との話し合いの中で利用者の重度化や終末期における方針を早い時期から共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導や食事介助等利用者の誇りやプライバシーを大切にする配慮が感じられる。また記録類は個人情報に注意して保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の意向や希望、生活ペースを踏まえてその人らしい生活が維持できるように取り組んでいる。共有空間では利用者の好きな沖縄の伝統行事のビデオが楽しめるよう配慮している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は食事の準備や片付等出来ることを行い、食事の際は職員も一緒に食事や会話を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望時間に合わせながら基本的には同性での入浴ケアを行い、羞恥心に配慮した支援を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者に表札を書いてもらったり、豆腐作り、手作りそばを教えてもらいながら一緒に作っている。生活歴や経験を発揮できるような場面作り、散歩、ドライブな等利用者個々の楽しみごとや気晴らしの支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望で散歩、ドライブ、買い物等積極的に行い、希望により自宅訪問も頻回に行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠を行うことはなく、入居者、家族は自由に入出入りが出来るケアを行っている。また、夜間の家族の面会にも配慮している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	母体施設との共同で消防訓練等災害時の訓練を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事摂取量は毎回チェックし、必要に応じて管理栄養士にアドバイスを受ける等の工夫を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は木製の家具や調度品等が配置され、家庭的な雰囲気が感じられる。また、ところどころにソファや椅子の配置がされ、利用者が自由に休憩が出来るよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室は使い慣れた日用品や家具が見られ、また家族の写真や仏壇を持ち込んでいる利用者も見られる。ベッドの高さも利用者の状態に配慮し、個別的な部屋作りに工夫している。		